



## 「ホームレス農園」は、 みんなの農園

「ホームレス農園」として知られる農園が、神奈川県藤沢市にあると聞いて訪ねてみた。そこは、ホームレスだけでなく、引きこもりも、障害者も、さらには健常者も、地域も変えていくという思いで、運営されている農園だった。

編集部=文  
text by KOTONONE  
岸本 剛=写真  
photograph by Tsuyoshi Kishimoto

### 普通の農作業とちよつと違う

キーン。上空、かなり低いところを飛行機が通過する。あれは厚木基地の米軍機だろうか。鉄塔の下に広がる畑。藤沢市の、市街地を少し離れたところに、こんなに平らで広い土地があることに少し驚く。その広い畑の中には、六、七人の男女が集まっている。作業着やつなぎに長靴の人もいるけれど、中にはきれいなジーンズに白シャツ、スニーカーの人もいて、格好はまちまち。農家の集団には見えない。

午後二時。農作業をはじめには少し遅い時間だが、この時間から作業が始まる。いったん集合して、お互いに自己紹介。その後、リーダーから作業の説明がある。今日は雑草の草刈りと、ネギの植え付けがメイン。作業を見学していると、いわゆる普通の農作業と少し違うことに気がつく。たとえば途中で手を休め、雑草についてのレクチャーがはじまったりする。あるいは、作業している人たち同士で、その作業についてだけではなく、ほかのことについてもしばしば話

しこんだりしている。だらけている、というのではない。ただ、作業にだけ集中するのではなく、そこにあるものや人、そこで起こることに注意を向け、それを楽しんでいるように見える。農作業を「する」のではなく「味わっている」と言えはいいだろうか。実は、ここで行われているのは、生活困窮者や就労困難者を対象とした、就労支援プログラムだ。

### 働けない人を 誰でも受け入れる

「農スクール」では、いわゆるホームレスだけでなく、生活保護受給者や、引きこもり、職場や学校があわずにうつなど精神を病んでしまった人など、さまざまな事情で「働きたいのに、働けない」人を受け入れ、就労につなげている。障害者手帳を持っているかどうかを聞くことはないが、その中には一定の割合で、精神、あるいは知的に障害のある人も含まれるという。地域の支援機関の紹介のほか、ウェブサイトで農スクールのことを知った人も門を叩く。代表の小島（おじま）希世子さんは「どこからの

小島希世子さん。時に雑談しながら、楽しく、「農スクール」のモットー